

テレビスタンド

SU-S28HD/S32HD/S36HD

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

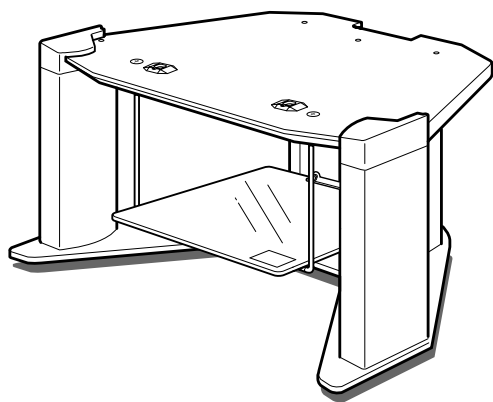
警告 安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このテレビスタンドは、下記のソニー製のデジタルテレビ専用です。棚板にはビデオデッキなどを収納するように設計されていません。

対応テレビ

| テレビスタンド | SU-S28HD | SU-S32HD | SU-S36HD |
|---------|--|--|--|
| デジタルテレビ | KD-28HD600 KD-28HD800 KD-28HD900 | KD-32HD600 KD-32HD800 KD-32HD900 | KD-36HD600 KD-36HD800 KD-36HD900 |



Sony Corporation © 2002 Printed in Japan

注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

指定のテレビ機器以外のものを載せない

- このテレビスタンドは指定のテレビ専用です。指定外のテレビや重い物を載せると、すべて落ちたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。
- 指定の機器以外のもの(陶器や花瓶など)は置かないでください。

載せる機器の総質量は、指定の質量を超えないようにする

指定の質量を超えると、天板が変形したり、ガラスが割れたりして、テレビなどを壊すおそれがあります。

組み立ては、組み立て手順に従ってしっかり組み立てる

ネジがゆるんでいたり抜けていると、テレビスタンドが歪み、テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。特に吊り棚はガラス棚板の落下防止のため確実に取り付けてください。



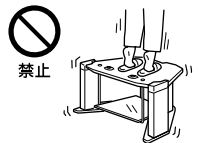
テレビを固定する

テレビスタンドに付いている固定ベルトでテレビの転倒を防いでください。テレビを固定しないと、テレビが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



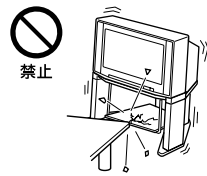
踏み台にしない

倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



ガラスに強い衝撃を与えない

テレビスタンドには強化処理を施したガラスを使用していますが、絶対割れないわけではありません。割れると、けがの原因となりますので下記のことをお守りください。



物をぶつける、先端の尖った物を落とすなど、強い衝撃を与えない。

鋭利な物で傷をつけたり、ガラス面を突いたりしない。

ビデオデッキなどを設置時にガラスの端面にぶつけない。

掃除機など、固い物をガラスの端面に当てない。



過熱した鍋、湯沸しなど熱いものを置かない

天板が変形したりして、テレビスタンドをいためる原因となります。



天板は側面の中央部分を持つ

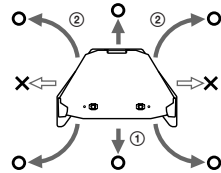
天板を取り付けるとき、前柱に当たる部分を持つと、天板と柱の間に手や指などをはさみ、けがの原因となることがあります。



テレビスタンドを動かすときのご注意

- このテレビスタンドは、↑で示した方向に動かせます。左右(×で示されている方向)には、動きません。無理に動かそうとすると、床面を傷つけたり、転倒の原因になることがあります。

左右に動かしたいときは、いったん前方(①)に引き、斜め後方(②)に戻しながら位置を合わせてください。



- テレビスタンドを動かすときは、ガラス棚板や吊り棚の部分を持たないでください。ガラス棚板が落下して破損したり、吊り棚が変形したりする原因となります。

- テレビを載せたまま動かすときは、固定ベルトでテレビが固定されていることを確認してください。また、テレビスタンドの天板や柱の部分を持ってください。テレビを押して動かすと、ずれたり、転倒するなど、思わぬ事故の原因になります。

- テレビスタンドを動かすときは、手足が底板の下にはさまれたり、キャスターで踏まれたりしないように気を付けてください。

使用上のご注意

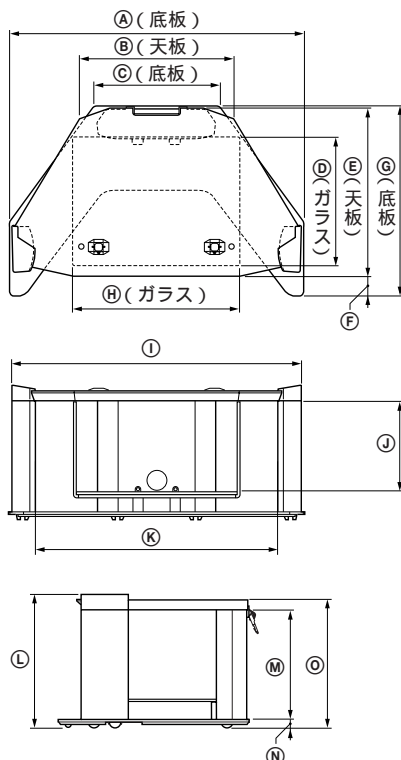
- 組み立てるときや、テレビやビデオ機器などを設置するときに、ガラスに手をついて体重をかけたり、ドライバーなど硬いものを落としたりしないようご注意ください。

- 設置場所は、堅くて平坦な床面にしてください。設置場所によってはテレビスタンドの変形や傾きが生じることがありますので下記のことをお守りください。
 - 畳、じゅうたん、カーペットなどの上に置く場合は板など堅い物を敷く
 - 直射日光が当たる場所や、暖房器具のそばに置かない
 - 高温多湿の場所や屋外に置かない

- ガラス棚板を取り付けるときは、ガラス棚板と吊り棚の隙間に指などをはさまないようにご注意ください。

- 美しい状態でお使いいただくためときどき柔らかい布で、から拭きしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を5～6倍に薄め、柔らかい布に含ませて軽く拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの化学薬品はテレビスタンドの仕上げを傷めることがありますので、使わないでください。

主な仕様

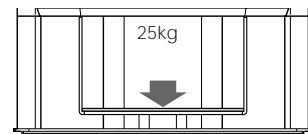


| 寸法 | SU-S28HD | SU-S32HD | SU-S36HD |
|----|----------|----------|----------|
| Ⓐ | 82.0 cm | 91.4 cm | 101.0 cm |
| Ⓑ | 60.3 cm | 58.0 cm | 53.5 cm |
| Ⓒ | 35.1 cm | 34.9 cm | 42.5 cm |
| Ⓓ | | 44.7 cm | |
| Ⓔ | | 58.5 cm | |
| Ⓕ | | 6.8 cm | |
| Ⓖ | | 65.8 cm | |
| Ⓗ | | 51.0 cm | |
| Ⓘ | 80.2 cm | 89.4 cm | 98.7 cm |
| Ⓧ | | 31.5 cm | |
| Ⓚ | 64.1 cm | 73.5 cm | 83.3 cm |
| Ⓛ | | 46.1 cm | |
| Ⓜ | | 38.3 cm | |
| Ⓝ | | 2.7 cm | |
| Ⓧ | | 44.0 cm | |
| 質量 | 19.2 kg | 20.8 kg | 21.2 kg |

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

積載量について

ガラス棚板には、25Kg以上のものを載せないでください。破損するおそれがあります。



警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかしまちがった使いかたをすると、火災・感電・転倒などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意 この表示の注意事項を守らないと、けがをしったり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。



警告 火災 感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電・転倒**により死亡や大けがの原因となります。

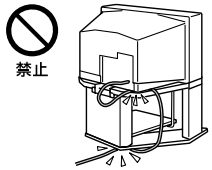
テレビスタンドにテレビを載せた状態で、テレビにぶら下がらない

テレビが転倒して、大けが、死亡などの原因となります。



テレビや収納機器のコードをはさまないようにする

- テレビなどをテレビスタンドに載せるとき、電源コードをはさみこまないようにする。
- テレビスタンドを動かすとき、キャスターで電源コードを踏まないようにする。コードに傷がついて火災や感電の原因となります。



ガラスの上に乗ったり、すき間に入り込んで遊ばない

ガラスの上に乗ったり、ガラスに足を掛けたりすると、ガラスが割れたり、テレビが倒れたりして、大けがや死亡の原因となります。



手順1: 組み立てに必要な部品を確認する

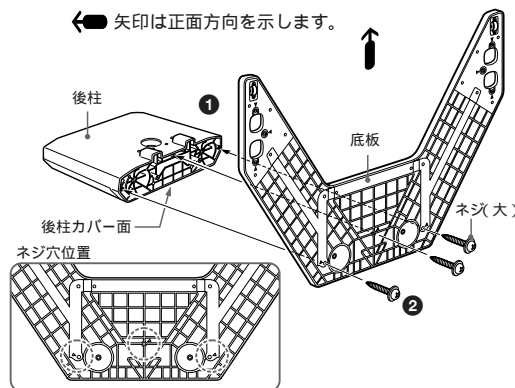
| 名称 | 数量 | 名称 | 数量 | 名称 | 数量 |
|---------------|--------------|----------|----|--------------|----|
| 天板 | 1 | 後柱一式 | 1 | 吊り棚 | 1 |
| 底板 | 1 | 後柱本体(1) | 1 | 袋ナット | 2 |
| 前柱 | 2 | 後柱カバー(1) | 1 | ネジ(大) | 16 |
| 前柱のキャップ(左)(右) | (左)1 (右)1 | | | ネジ(小×後柱カバー用) | 2 |
| | | ガラス棚板 | 1 | キャスター | 6 |

組み立てる前に+ドライバーをご用意ください。

手順2: 底板と柱を取り付ける

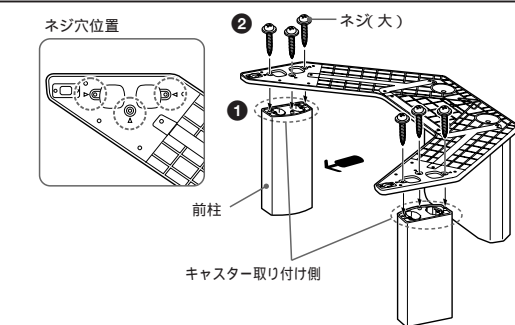
1 後柱を取り付ける。
後柱はカバー面を下に置き、底板は垂直に立てます。

- 後柱の突起を底板の穴に差し込む。
*ちょっと一言
後柱の穴に手をかけると作業がしやすくなります。
- 底板の裏側から△マークで示す穴にネジ(大)3本で留める。



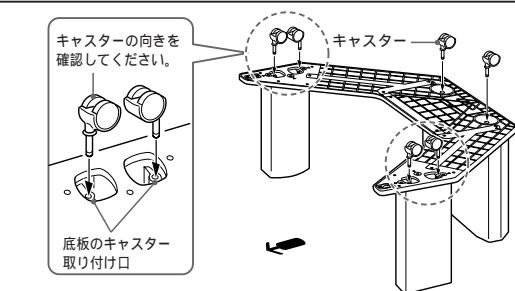
2 前柱を取り付ける。

- テレビスタンドを起し、前柱の突起を底板の穴に差し込む。
- △マークで示す穴にネジ(大)3本で左右をそれぞれ留める。
*ちょっと一言
前柱は2個とも同じ形のため、平らな面を外側にして、右のイラストのように、上下を正しく取り付けてください。



3 底板のキャスター取り付け口に、キャスターを差し込む。

- ご注意**
キャスターは正しい向きで入れてください。向きが反対になっていると、取り付けられません。

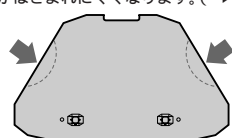


手順3: 天板を取り付ける

天板を載せて、ネジ(大)で取り付けます。

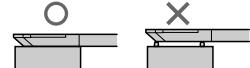
- 天板後方の先端角の部分を、後柱のLの字形になっている壁の内側に入るように合わせる。

ご注意
天板を載せるときは、天板と前柱の間に指をはさまないよう注意してください。天板の中央部分を持つと、指がはさまれにくくなります。(→部分を持つ)

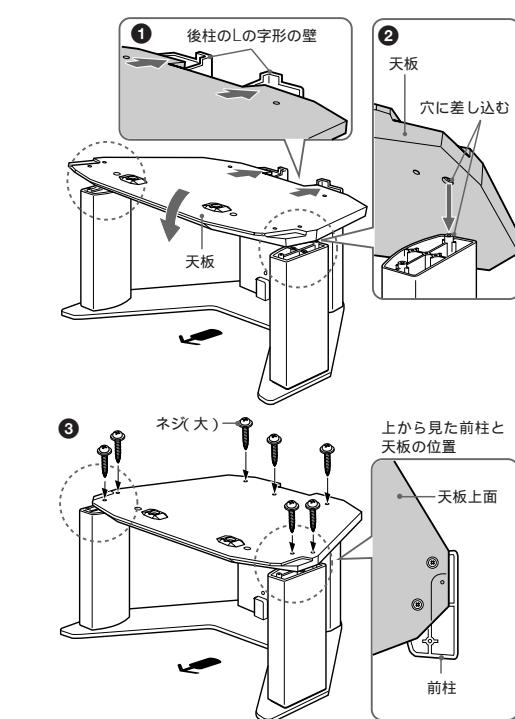


- 前柱の突起を天板前方(裏側)の穴に差し込む。

ご注意
天板を載せたあと、前柱に正しく差し込まれていることを確認してください。天板の位置がずれていると、ネジ留めできなったり、破損の原因となります。



- 天板を、ネジ(大)7本で留める。



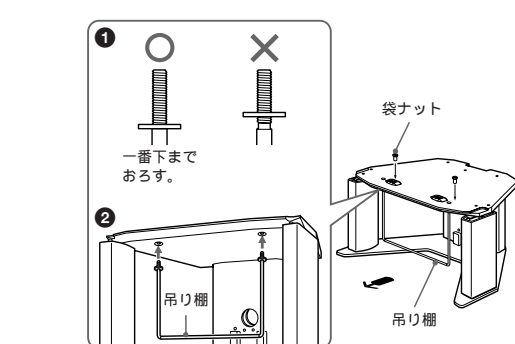
手順4: 吊り棚を取り付ける

吊り棚を天板に取り付ける。

- 吊り棚のワッシャーを右の図のように、一番下までおろす。
- 吊り棚を天板裏側のネジ穴に通し、片方の手でささえながら天板表側から袋ナット2本で留める。

*ちょっと一言
袋ナットを留めるときは、片方を先に仮留めしておき、一方の袋ナットを確実に締め、もう一度先に仮留めした袋ナットをしっかり締め付けてください。

ご注意
天板と吊り棚がしっかりと固定されていることを確認してください。



手順5: ガラス棚板を取り付ける

ガラス棚板を載せて、固定ボタンで固定する。

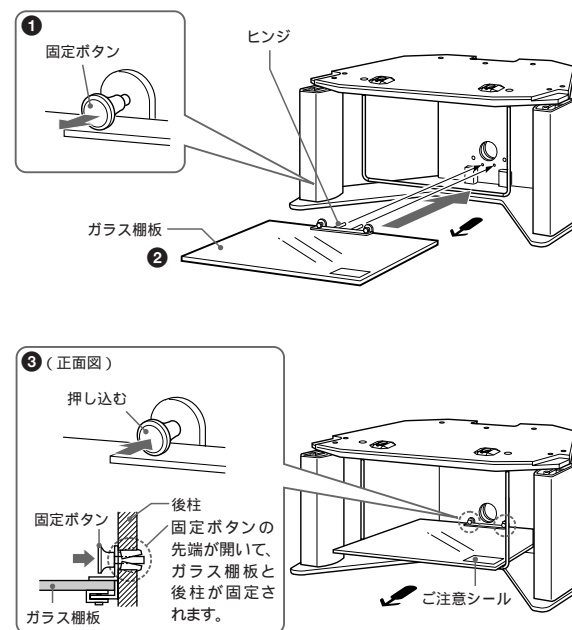
- ガラス棚板のヒンジに付いている固定ボタンを手前に引っ張り、固定ボタンが固定されていないことを確認する。
- ガラス棚板を吊り棚の間から入れ、ヒンジの突起を後柱の穴に差し込み、吊り棚に載せる。

ご注意

- ガラス棚板が手から誤ってすべり落ちないように、気を付けてください。
- ガラス棚板を取り付けるときは、フィルム面が下面(ご注意シールの面が上面)になるようにしてください。
- ガラス棚板に衝撃を与えると、ガラス棚板が破損してけがの原因になることがあります。ガラス棚板を載せるときには、ガラス棚板の上に手を置いたり、ガラス棚板の端を柱や吊り棚に当たらないようご注意ください。

- ヒンジの固定ボタン(2個)を押し込んで、ガラス棚板を後柱に固定する。

ここまでの組み立てが済んだら、テレビスタンドを設置したい場所の近くに移動してください。

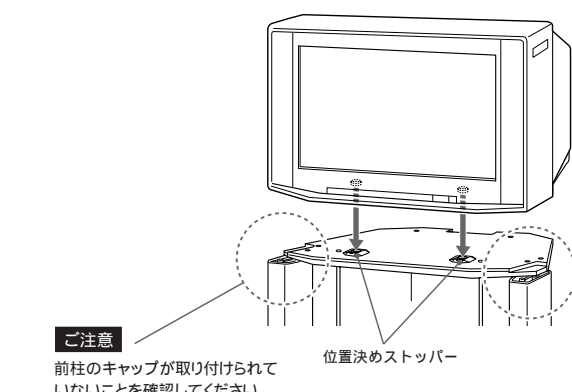


手順6: テレビを置く

1 前柱のキャップが取り付けられていないことを確認して、テレビを置く。

ご注意

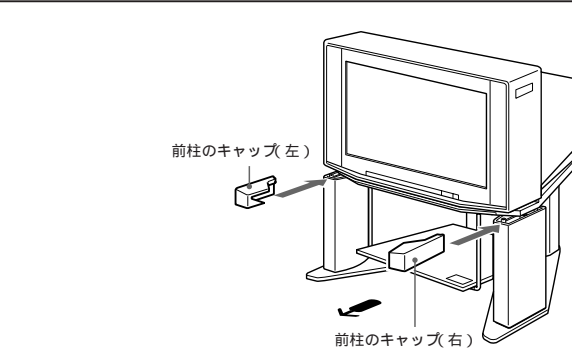
- 前柱のキャップが取り付けられていると、テレビとテレビスタンドのすき間に指をはさむ危険性があります。
- テレビを置くときは、必ず2人以上で、静かに置いてください。
- テレビの足が位置決めストッパーの内側に入るように正しく載せ、位置決めストッパーの上に乗りに上げていないか、確認してください。
- テレビの電源コードを、天板とテレビの間にはさまないように注意してください。コードに傷がついて火災や感電の原因となります。



2 前柱のキャップを、テレビとテレビスタンドのすき間に、すべり込ませて取り付けます。

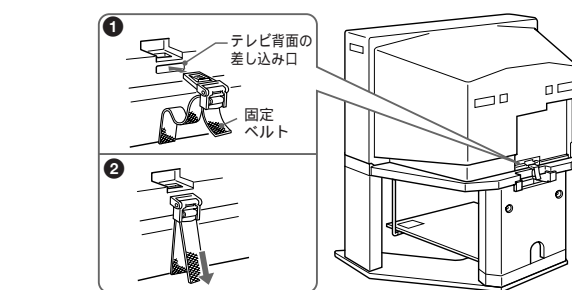
ご注意

- 必ずテレビスタンドにテレビを載せてから、前柱のキャップを取り付けてください。
- 前柱のキャップは左右正しく取り付けてください。



3 天板に付いている固定ベルトで、テレビを固定する。

- 天板に付いている固定ベルトのバックルをテレビの背面の穴に差し込む。「カチッ」と音がするまで入れ、バックルが抜けないかどうか確認してください。
- 固定ベルトをたるみがなくなるまで下に引く。

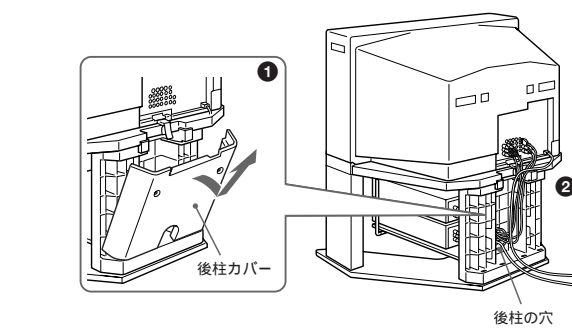


手順7: ビデオ機器などを設置する

1 ビデオ機器などを設置する。

- 後柱カバーをはずし、ビデオ機器などを棚板に設置する。
- 後柱の穴から、ビデオ機器のケーブルなどを通し、テレビと接続する。

テレビとビデオ機器の接続のしかたについては、テレビとビデオ機器の取扱説明書をご覧ください。



2 後柱カバーを取り付ける。
後柱カバーをはめ、ネジ(小)2本で留める。

ご注意

- カバーを取り付けるときは、コード類を傷つけないようご注意ください。
- コード類が多いときは無理にカバーを取り付けないようにしてください。
- ネジ留めをしないと、振動などでカタカタ音がしたり、移動時にカバーがはずれたりする可能性がありますので、必ずネジ留めを行ってください。
- 電源ケーブルは、たばねると発熱することがあります。他のケーブルと一緒にカバー内でたばねないでください。

